

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 岡山市下水道河川局 広報戦略推進班		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 三宅 主馬、羽納 亘、蜂谷 遥香 下水道河川局 TEL:086-803-1489 kazuma_miyake@city.okayama.lg.jp	
代表者氏名 岡山市長 大森 雅夫			
部門名 行政 部門	事例名 下水道PRポスターの作成		
事例の概要 岡山市下水道河川局では、市民の方に下水道について興味をもっていただくため、平成27年度から20代の若手を中心とした広報戦略推進班を結成し、様々な広報活動に取り組んでいる。 下水道は重要インフラの一つであるが、「あることが当たり前の下水道」に市民の方々の関心が向いていないのが実状である。そこで、少しでも多くの方に下水道の役割について知り、理解を深めていただくため、下水道PRポスターを作成した。平成28年度から毎年、2種類のポスター(A2サイズ)を作成しており、令和元年度には合計8種類となった。今まで作成したポスターの全てにおいて、写真で印象付け、下の説明文で岡山市の下水道事業について詳しく知っていただけるような構成となっている。 令和元年度は「下水道が繋ぐ命のバトン」、「晴れの国で雨の日だけ仕事」というテーマで作成した。「下水道が繋ぐ命のバトン」では、浄化センターで処理され、きれいになった汚水が植物(コスモス)を育てることに使われていることや、水資源確保や環境対策のため下水道処理水の再利用を進めていることを表現した。「晴れの国で雨の日だけ仕事」では、なかなか普段の生活で見ることがない雨水ポンプに着目し、降雨時に内水はん濫を防ぐ影のヒーローがいるということ表現した。 ポスターのデザイン、写真撮影、「晴れの国で雨の日だけ仕事」といったキャッチフレーズの発案、説明文の作成などすべて広報戦略推進班のメンバーで行っており、作成にかかった費用は印刷製本代(電子焼付)のみである。 PRポスターは岡山市役所、区役所、下水道施設、公民館などに設置している。また、市のホームページ( <a href="https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000017300.html">https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000017300.html</a> )でも公開をしており、ポスター中には書ききれない思いを詩的なフレーズで掲載している。「この写真いいね」や「とても綺麗」などの意見を頂いていることから、下水道に関心のない市民の方がふと足を止めて下水道を考えるきっかけとなっていると思われる。			
			
			
		市役所一階廊下での掲示	
エントリー事例の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 縁の下の力持ちの存在である下水道を題材にして、多くの方に下水道についての理解を深めてもらうことが可能</li> <li>● 下水道経験が少ない若者ならではのキャッチフレーズ(晴れの国で雨の日だけ仕事など)</li> <li>● デザインやポスターの設置などをすべて職員が行っており、少ない予算で作成している。</li> <li>● 市役所や公民館などに設置することで、下水道に関心のない方が下水道を考えるきっかけになる。</li> </ul>			
付属資料の提出	あり ○ なし (どちらかに○)		